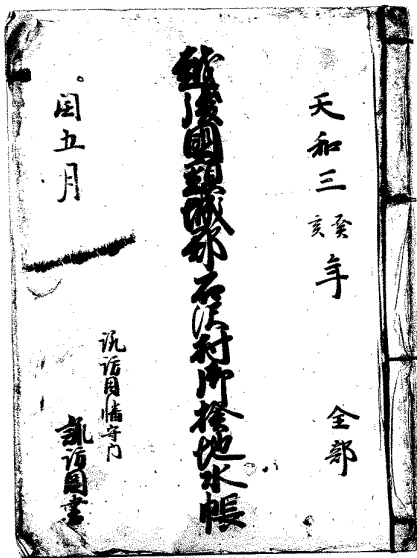


石沢区有文書目録解題

上越市大字石沢（石沢町内会）が所有する史料群で、天和3年（1683）の「越後国頸城郡石沢村御検地水帳」から昭和55年（1980）の共有入会地の貸し付けに関する契約書まで、250余点である。

内容は、主として共有の林野や用水の維持・利用、矢代川の治水、道橋の建設維持などで、隣接する村々との争論や協約に関する史料を中心とし、近世中期から現代に至る村落共同体の営みを継続的にみることができる。近世石沢村が、地租改正を軸とした明治政府の諸施策に対応しながら、近代の行政組織の中に展開する複雑で微妙な動向を読み取ることができる史料も多い。

この史料群は、石沢の人々によって長い間大切に保管され、共同体運営のために実際に機能し続けている。現在も非常に良好な状態で同町内会により保存されている。



「越後国頸城郡石沢村検地水帳」（天和3年閏5月）
諏訪因幡守内 諏訪因書

